

丸山湿原群保全の会会報

(第 199 号)

発行日：2024年（R6）2月21日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061（今住）

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と差別を生み出します！

「冬はつとめて…いと寒きに、火など急ぎおこして、炭もて渡るも、いとつきづきし。」清少納言の「枕草子」です。平安時代は「中世温暖期」に当たり世界的には気温が高かったようです。しかし日本では平安初期こそ暑かったものの、清少納言のころ（平安中期）は寒冷だったと最近の研究で分かっています。しかも寝殿造りの屋敷。どう見ても熱帯地方の建物のように風が通り抜ける造り。ダウンのジャケットや布団も無かった…布団すら今の形とは違う？寒かったと思いますが、やはり「いと寒き」が「をかし（素晴らしい・趣がある）」だったのでしょくか？宮中の暮らしが「暇」だったので、それぞれの季節に似つかわしい情景に美を感じていたのでしょうか。一般庶民は???幸せだったのか???

最近の気温「わろし（よくない）」です。先日も 20℃近くまで上昇。ゴールデンウィークかと思いました。いやまだ 2 月中。今年の冬は最低気温も -4℃ぐらいまでだったでしょうか？しかも数日のみ。灯油や電気代がかさます助かりはしているものの…（プロパンガスは高いよ！）風流も味わいたいか。今年の夏はどうなるかわかりませんが、夏の暑さ（猛暑）が「おかし」となればたいしたもの。寝殿造りふっかーつ？セキュリティとプライバシーの問題ありですね。もっとおおらかになれば問題解決か？いや論点がちがう…（今住 2月20日作成）

定期活動 ★1月28日（日）第1湿原又マガヤ刈り。14名で作業。

前回に引き続き第1湿原の刈り取り作業。朝の冷え込みはあったが天気がよく暖かくなりました。水も何とか張っています。14名で今回も刈払い機5台投入！ちょっと機嫌が悪い機械もあります



この日も一応氷は張っていた



水の溜まった土嚢ダム？

が…そこはご愛嬌で。（整備しとこ）この人数なのではかどりますが…運び出しを考えると「ゾッ」としますが、2月9日に小学校がやってくる。環境学習という名の「協働」。いやほんとにはかどるんです。そこで今回は又マガヤを湿原内に山積みします。それでも刈り取った又マガヤ（沼茅）・スキ（薄）を集積していくのは疲れます。湿原内に小山がいくつも出来上がりました。



又マガヤの株を踏みつける監督

湿原の中心部にも又マガヤがちょくちょく出ています。その部分は株が大きくなり高くなる。株を掘り起こしたい気分です。刈り取り後、株を踏みつけると浮いてるようにフワフワ。ではと、徹底的に「監督」と踏み込みました。さて結果は夏以降に。元気な再生か、ダメージを与えたかちょっと興味がわきます。忘れないようにしよ

うっと。

土囊ダムはかなり機能している様子で、湿原北側半分の水位が上がっています。しかし今だ雨らしい雨は降らず。どこもかしこも渇水状態なのは…これが夏なら取水制限もあるような感じです。三田市役所や猪名川のイオン近くにも水不足を訴える幕が張ってあったような？違ったか？

冬場はもともと雨の少ない季節。しかし、ため池を見ても川を見ても水量が本当に少ない。少ないながらも出てくる水には驚きますが、地下貯留という部分ではどうなのでしょう？夏に出水が少なくなるのではと考えてしまいます。地下の構造はまだ分からないことばかりのようです。やはり神頼み。いつも榊振って「かしこみ～かしこみ～」とやってるんですがね。ふざけてるって？反省です。

最近の傾向で、作業は皆さん本当に「まじめ」。第1 湿原のヌマガヤ類の刈り取りはほぼ終了しました。これで、小学生が頑張ってくれば「しめしめ」です。毎年恒例になりつつあります。本当に「協働」です。子どもたちの力が天然記念物保護に役立っています。でも、今回も頑張ってくれるやろか？少々心配も…2月9日の報告にご期待ください。

そうそう、アカガエル類の卵塊がありました。数日前少量の雨。雨につられて産卵したようです。両生類は水不足にどう対応するか？土囊の溜まりにも産卵するのか。大概触ったところにはしばらく来ないけど…



今季最初の卵塊



草山にするのも骨が折れ

西谷小学校 3・4 年登場 ★2月9日（金）大きくなった…その後のサワガニは？

さて、小学校の環境学習最終回。昨年から複式学級でやってくるので、4年生は2年目。だいたいやることは分かっている。頼もしく、でも飽きられないかの心配もあり。そんなことないか？

そうそう、10月に小川で捕まえたサワガニどうなったのでしょうか？恐る恐る聞いてみると…「生きてます！」と。凄いとしかいいようがありません。私には驚異的なことです。



カニはいないか～と川へ 冬眠中

では、とサワガニの寿命を調べてみました。なんと10年！私はうまく飼っても1年か2年とっていました。事実私が飼うとすぐ死んでしまいます。ほとんど面倒をみなかったからですが…。

水がきれいなところに棲むカニ（日本固有種）。水替えやエサやり、大変なことでしょう。が、まだ？4か月なんですね。もし…10年生きたら…妙なプレッシャーはやめときましょう。長寿をお祈りいたします。よく「唐揚げにして食べたら？」と言いますがそれもな～。

逃がす場合は基本、元の場所へ。基本中の基本ですのでそこはよろしく願います。丸山駐車場の横の川でOKです。

で、話を戻します。竹筒ポストに石を入れて進もうとすると「カニは！」。出た～。川に行こうとしています。保育園の子たちも同じやったな。いやこの時期は冬眠中。でも探したいなら…川へ入っていく数人。水も少なく諦めて上がってきました。今回は作業やし、早くいかないと。大人の都合が頭を



誰やねん？アイスフィルター



秘伝の圧縮法を伝授



強力な戦力 毎年お願いします



伐ったど〜



気持ち悪っ！の声も でも興味が…



そうっ、プルプルの卵を触ってみる

よぎります。

第1 湿原に到着。昨年のエピソードを少々紹介。運び出した又マガヤがベッドや簡易宿泊所に？子どもたちの目が輝きます。当然ベッドや「家」を作るには又マガヤが必要。意欲的に働き始めました。草の圧縮術も伝授。草山に倒れ込み体重で圧縮。そのまま抱えて湿原外へ。結局自分たちなりの方法やってましたけど…。

作業は驚くべきスピードで進みました。「しめしめ」です。数名がノコギリ体験。萌芽再生したソコゴ(冬青・戦)を伐っていただきました。「このノコギリええわ、家で買ってもらおう」との感想も。それは知らん。ご勝手に。

意外に早く終わって自然に遊びが始まります。天気がいい、気温も上がってきました。まるでピクニック気分。「お弁当持って来たかったわ〜」との声も。最初の家づくりも始まっています。山を作って中をくりぬく。と思ったらトンネルに。四角く部屋を作ろうと草を積んでいくグループも。そこは集めた又マガヤが足りず断念。囲いの中で少々まったりしていました。鳥の巣にいる雛のようにも見えました。

最後にアカガエル(赤蛙)類の卵塊を観察。少雨の影響で産卵数は遅れがちですが、見て触って驚いていました。

なぜこの寒い時期に卵を産むのか？普通は田植え時期のイメージ。北方系のカエルと南方系のカエル。これはややこしい。外敵に狙われにくいメリット。しかし親のエサがないデメリット。だから親は「春眠(2度目の冬眠)」に。次に出てくるのは5月ごろになります。いろいろですね〜。「カエル」もみんなおんなじじゃない。「多様性とはこんな感じ」と思ってくれたら、ほんまの環境学習や！ほんまなんですが多分…。決めつけは危険！何事にも当てはまるかも？

午後は教室で「算数」と「総合」。近々「総合」の発表会もあるとかないとか。がんばれー。丸山湿原テーマの人もいるらしい。でも算数は「嫌や」な、個人的に。ほっこりできました。さあ帰りましょう。給食が待ってます。珍しく献立を答えられる人がいなかった。残念…フルーツはあるらしい。「ポンカン」やったかな？暇があったらまた来てね。3年生は来年も待ってまーす！



草山は消えた…と思う



家を作っているのか？トンネル？



暖かい巣に守られた雛たち



帰ろ帰ろ！弁当あったらな…



パイパーイ

定期活動 ★2月10日(日) 第4 湿原又マガヤ刈り。

「大阪みどりのトラスト協会」ビデオ取材あり。8名で作業。(協会の1名を含む)

目的	市内	市外
丸山湿原	46	15
登山・ハイキング	54	49
散歩	9	2

来場者数計 175 人
(竹筒ポストデータ)



カメラが構えられた第4 湿原

場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
入口	10:10	5.6℃		
第3 湿原	10:23	7.9【5.8】	36.4 μS/cm	6.3
視点場	10:55	13.1【5.5】	34.3 μS/cm	5.6
第1 湿原	11:05	10.9【4.1℃】	37.7 μS/cm	6.1
第2 湿原	10:40	10.0【4.1℃】	39.6 μS/cm	6.3

観測日ですが冬季は作業も並行します。今回は「大阪みどりのトラスト協会」の事務局の方も参加。実は2月23日(金・祝)に「北摂近郊の湿原 保全活動団体情報交換会」のお話をいただいたのですが、都合がつかず「参加できない」とお返事。「ではビデオで参加してください」と、ビデオとカメラを手にわざわざ来てくださいました。基礎調査に同行後、第4 湿原刈り取り作業場に。刈



自主的に応援作業中 感謝!

払い機で作業していると、目の前で草集めをされているではありませんか。なんと!「お話を聞く時間まで暇ですから」と「今日、地黄湿地(大阪府能勢町)でも同じようなことやってると思いますよ」とも。「おおさか」の協会でした。ありがとうございます。23日(金・祝)池田商工会議所で交換会。(14:00~)お時間ある方はぜひご参加ください。ビデオ参加のうちが言うのもなんですが…(松尾湿原・皿池湿原・地黄湿地・網引湿原・甲山湿原などが参加)

この日も天気がよく、作業がはかどりました。刈り取り作業ほぼ終了。第2 湿原は基本的にあまり手を入れませんので、必須の作業は終了となります。しかし毎回言ってるけどみんな真面目です。

第2 湿原の作業をどうするか、第1 湿原歩道と湿原の間の常緑樹などをどうするかが、今後の課題かと思います。皆さんご意見お願いします。そうそう、追加の土嚢設置もありますね。買った分は使い切らないと。



記念写真も撮っていただきました

その後、しどろもどろのインタビューを受けている途中に、湿原見学の一般の方が来られました。川西からだそうですが「こんな広い湿原が近くにあったのを全く知らなかった」と気を遣ってか言ってくださいました。高層湿原ではなく、放っておくと消えていく滲水(湧水)湿原であることをなぜか熱弁していました。イギリス人の方もおられ、泥炭をチャコール(炭)??ちゃうちゃうピートモス?モス(苔)はいらんかったような気がします。

日本語ペラペラで納得されていました。スコッチウイスキーにはピート。「スモーキーフレーバー」を作り出す源だそうな。それ(泥炭=ピート)は「この湿原には無いよ」の説明でした。

インタビューの続きでした。と思うと「今の会話を撮って?ましたので大丈夫ですよ」と優しく言っていました。感謝! あーしんど。「帰ろ帰ろ」とこの日は少し早く終了。

両生類卵塊数調査

今年は少し時期を遅らせます。3月9日(土)10:00 集合で実施したいと思います。今回もセミナーはなし。大々的に宣伝もしません。一般参加OK。当日受付をいたします。

次回活動日 2月25日(日) 3月9日(土) 卵塊数調査 24日(日) 4月13日(土) 28日(日)